

学外研修報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 木村真吾

1. はじめに（目的等）

第 30 回生物学技術研究会に、技術系職員相互による技術発表および情報交換等を目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 31 年 2 月 14 日（木）～ 2 月 15 日（金）

場所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）

3. 参加者等

主に生物学に関連する技術系職員等約 140 名

4. 研修内容

1 日目 研修講演「電子顕微鏡による研究・実験技術・研究環境」1 件

ポスター発表 50 件

意見交換会

2 日目 一般口演 12 件、話題提供 1 件

奨励研究採択課題技術シンポジウム 13 件

5. まとめと感想

自身が担当する次世代シーケンサーに関連し、「ナノポアシーケンサー-MinION による、がんの構造変異検出」という題目で一般口演発表を行った。同じ分野に携わる他の施設の技術職員から多くの貴重な意見をもらうことができた。例えば、同じ試薬の量で多くのサンプルを処理する方法であったり、データのまとめ方であったり、新機種のパフォーマンスと費用についてなどである。個別の機器のこと以外にも、業務の体制、人数、セキュリティ対策などについても意見交換をし、様々な情報を交換することができた。また、フィールド系、教育系、システム系など自分と少し異なる分野の発表も、知見を広げる意味で有意義であった。研修講演やその他の発表等を通じて技術系職員のキャリア、研究者との関係性についても理解が深まったように思う。会に参加して得られた知識やネットワークを今後の業務に活かしていきたい。